



海外事業

島嶼地域沖縄で開発・改良された技術を海外へ

普及実証事業への参画（対象国：サモア独立国:平成 25～27 年度）

民間支援事業の普及・実証事業へ、福山商事株式会社と共に参画しております。本事業は平成 25～27 年度まで 3 ヶ年の事業計画です。事業としては、雨期における高濁した水道原水を、砂利の下に埋めた有孔管（孔のあいたパイプ）で取水し、濁度を軽減させる施設を作ります。これにより浄水場の負荷が軽減されることが期待されます。



写真.高濁した河川



写真.濁水が流入した浄水場

**ろ過システム
サモアで導入**

福山商事 来年着工

福山商事（浦添市、福山保社長）は、南太平洋の島国サモアで、河川から浄水場に水を引く取水管に取り込む水のろ過システムを導入する。14日、国際協力機構（JICA）と業務委託契約を締結した。

年内に現地調査し、来年6月の着工を目指す。サモアの土壌は雨を吸収しにくい火山地質のため、11・5月の雨期には、雨に流された大量の土砂が河川に流入し、浄水場の能力を超える濁水になるという。

同社は、河川にある取水管の入り口に砂利などを使ったろ過システムを設置し、浄水場に取り込む前の水の濁りを取り除く。

取水管には、空気を送る逆洗管も併設。取水管の入り口にたまるとろ過能力が低下する「民間提案型普及・実証事業」を始めており、同社は県内で3社目の委託契約となる。

沖縄タイムス（H25.11.20）

サモアの水を浄化

福山商事 JICA 事業を受託

国際協力機構（JICA）を対象に JICA が実施した「民間提案型普及・実証事業」で、泥などによる目詰まりを防止する。今回適用する逆洗管は、

通管使用される水ではなく泡状の空気を排出することによって取水管の目詰まりを防止、長期にわたり濁りが少ない水を浄水場に取り込むことが可能になる。生物浄化法の性能を補うことで安全な水の提供だけでなく、薬品使用量の削減が可能となり、環境保護への貢献も期待されるという。

事業は 2016 年 3 月まで、今年 11 月中に第 1 回現地調査をすませる予定。取水管を埋設する際に、ろ過する方向と逆に水を流し汚れる。

事業は 2016 年 3 月まで、今年 11 月中に第 1 回現地調査をすませる予定。取水管を埋設する際に、ろ過する方向と逆に水を流し汚れる。

琉球新報（H25.11.20）